

キッチン/ 洗面化粧台・トイレ手洗いカウンター

取扱説明書

USER'S MANUAL

ご愛用の皆様へ

この度は当社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書本文にてでくる「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご注意



- ご使用前に、この取扱説明書本文にてでくる「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みいただいた後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 各設備機器(調理機器・換気扇等・水栓等)には専用の取扱説明書が付属されておりますので必ずお読みください。

CONTENTS

安全上のご注意	1
各部の名称	3
使用上のご注意	4
使用上のお願い	7
各部の使用方法	9
お手入れ	11
アフターサービス	12

必ずお守りください

- この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みいただいた後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

表示	意味
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

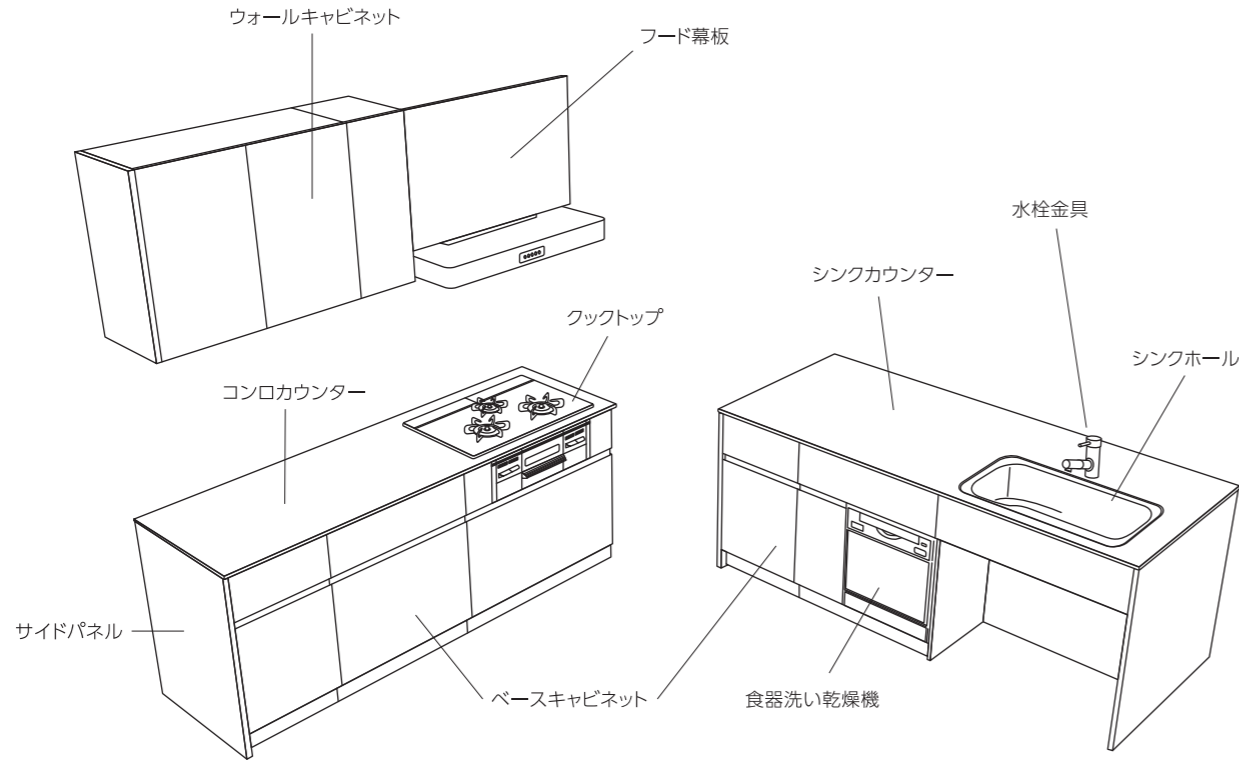
■絵表示については次のような意味があります。

 一般的な注意	 高温注意	 必ず行うこと
 一般的な禁止	 触れるな	 分解禁止

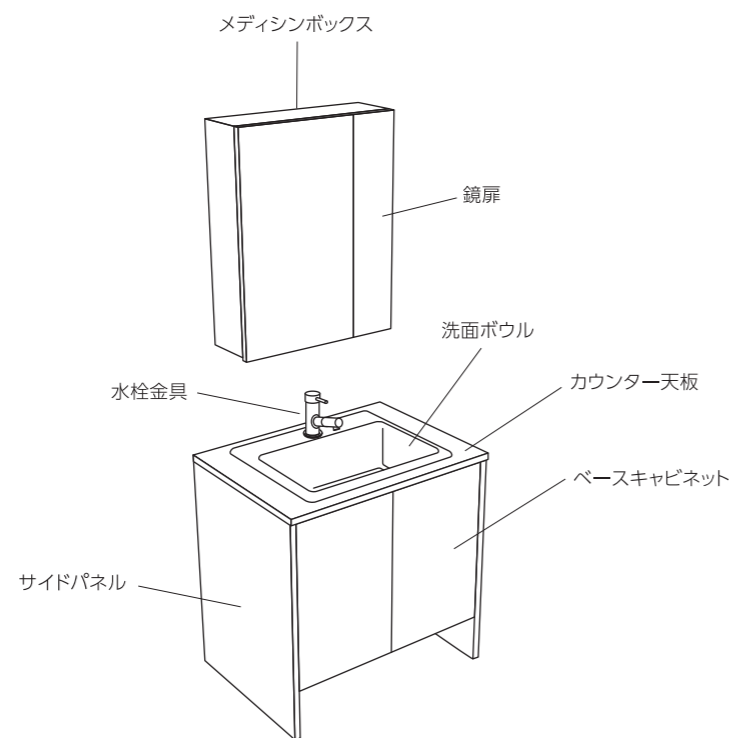
- 各部の名称
- 使用上のご注意
- 使用上のお願い
- 各部の使用方法
- お手入れ

このイラストは代表的なシステムキッチンを表しており、ご購入いただいた製品とイラストや図版が合わない場合がございますのでご了承ください。

■ II 型



■ 洗面



使用上の注意(必ずお守りください)

- 1 調理機器の上や周りには燃える物を絶対に置かないでください。 

警告 スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。
- 2 扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のネジをしめなおしてください。 

注意 扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。
- 3 扉や、取手にぶら下がらないでください。 

注意 扉や、取手がはずれて、ケガをする恐れがあります。
- 4 扉を大きく開けすぎないでください。 

注意 扉や、取手がはずれて、ケガをする恐れがあります。 
- 5 棚受けは確実に奥まで差し込んでください。 

注意 棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。
- 6 てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さないでください。 

注意 排水器具などが変形し水漏れの原因になることがあります。 
- 7 組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項をお守りください。 

注意 使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

8 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。

注意 水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

9 棚板の上に8kg以上載せないでください。また吊戸棚一つに45kg以上載せないでください。また一部分への集中荷重はさけてください。

注意 棚板やキャビネット本体の変形により、載せているものなどが落ち、ケガをする恐れがあります。

10 調理機器の使用中や使用直後は、調理器周辺に手をふれないでください。

注意 放射する熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。

11 包丁差しの固定ネジがゆるんでガタツキが発生したときはネジをしめ直すか、販売店に連絡してください。

注意 包丁差しがはずれてケガをする恐れがあります。

12 改造しないでください。

注意 思わぬ事故の原因になることがあります。

13 混合水栓を使用する時は、必ず水を先に出してください。

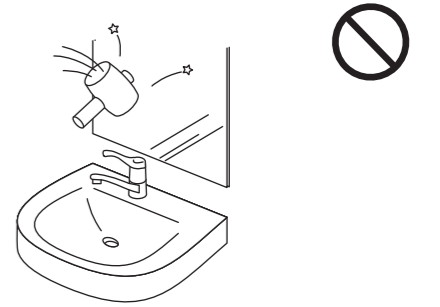
注意 水栓及び熱湯で、ヤケドをする恐れがあります。特に、小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

14 棚板の位置を変える場合、棚ダボは、隙間のないように根本までしっかり差し込んでください。

注意 棚ダボがゆるんで、脱落する恐れがあり、ケガ・事故につながります。

15 鏡を押ししたり、たたいたりしないでください。

注意 破損すると破片によるケガの原因になります。



洗剤等の取扱注意

16 洗面で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤
その他薬品類は、それぞれの容器等に表示されている、注意事項を必ずご覧ください。

注意 使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、洗面本体や機器類がいたみ、水もれ事故や、故障の原因になることがあります。



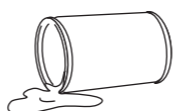
取付上の注意

17 取付は取付専門店におまかせください。

注意 配管などご自分でできないことがあります。またご自分で取付されて発生した事故・故障については当社は責任を負いませんのでご了承ください。

カウンター(ワークトップ)・シンク及びボウル

- 熱したフライパン・なべ・火のついたタバコ等の熱いものはカウンターに直接置かないでください。変色・変形の原因となります。
- かたい物や鋭利な物は落としたり、ひきずらないでください。また直接カウンターの上で、包丁を使用し物を切らないでください。キズがつきます。
- ぬれたままの包丁・缶詰等鉄製の物や、塩ビ・ゴム製品を長時間のせたままにしないでください。貰いサビ・変色の原因となります。
- 酸やアルカリの薬品をかけたり流したりしないでください。カウンターをいためます。
- 油・煮こぼれ・調味料等の汚れはすぐに水拭きしてください。そのままにしますとサビ・変色の原因となります。
- 強い衝撃を与えないでください
- シンク内に氷や井戸水を放置すると結露する場合があります。結露による扉やキャビネットの変形・変色の原因となります。
- 長期間、水滴を放置しないでください。水アカの原因となります。(水道水に含まれるケイ酸によるものです)
- 化粧ビン等かたい物や鋭利な物は落とさないでください。キズがつきます。また、陶器のボウルは破損します。
- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけないでください。水や湿気に反応して発生するガスが、金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。
- 市販のヌメリ取り剤は、塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスが錆びるおそれがありますので使用しないでください。



キャビネット(木部)

- シンナー・ベンジン等の溶液で表面を拭いたりしないでください。変色したり溶解することがあります。
- 水をかけないでください。水の飛びはねはこまめに拭きとってください。また、ぬれた手でさわらないでください。長期間放置しますと扉やキャビネットの変形・変色の原因となります。
- 油・調味料等の汚れはすぐに拭きとってください。長時間たつととれなくなります。
- 毛染め液、パーマ液をキャビネットにつけないでください。シミができることがあります。



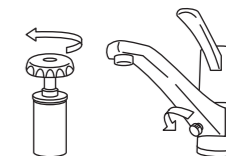
排水口(排水器具)

- 布・ビニール・脱脂綿等を流さないでください。つまりの原因となります。



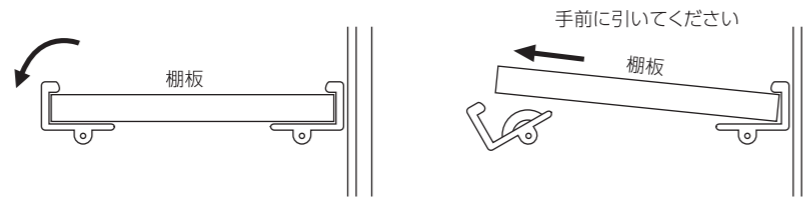
その他

- 冬場、水道を凍結させないでください。凍結の心配がある場合は、不凍栓を閉じて水栓の水抜きをあけて水を抜くか、水を細く出してください。



棚板の移動

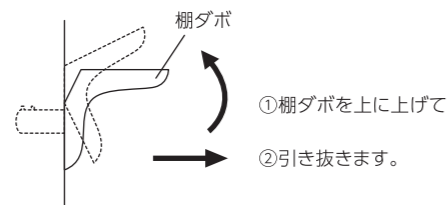
- ①移動したい棚板上の品物を全ておろします。
- ②棚板の4隅の棚ダボのツメが引っ掛かっていますので、手前2箇所(左右)のツメを手前に引き、棚板を取り外してください。



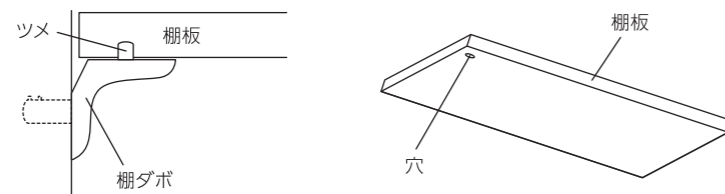
- ③棚ダボを移動したい位置の穴へ4個とも差し替えます。
- ④②の逆の要領で手前の棚ダボのツメを手前に引き、棚板をはめ込みます。
- ⑤棚板の移動は「安全上のご注意」5項を守ってください。

棚板上のセタイプ

- ①移動したい棚板上の品物を全ておろして、棚板を上にもち上げおろします。
- ②棚ダボを移動したい位置の穴へ4個とも差し替えます。



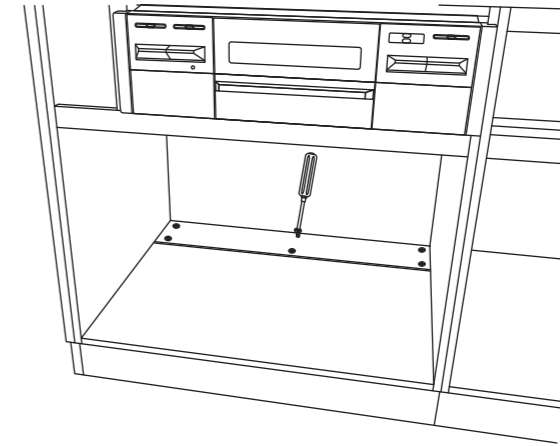
- ③1箇所だけツメのついた棚ダボがありますので、棚板の下面穴に合わせて棚板をのせてください。



- ④棚板の移動は「安全上のご注意」6項、7項を守ってください。

点検口のあけ方

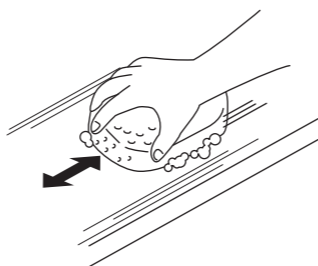
ベースキャビネットの点検口をあける場合は
ドライバーを使ってビスをはずします。



点検口は全てに共通するものではありません。
製品・種類によって点検口がない商品がございます。

カウンター(ワークトップ)・シンク

- ご使用後は水拭きしてください。
- 塩分・油脂分の汚れは布・スポンジに台所用中性洗剤を含ませて拭きとった後、水拭きしてください。
- ガンコな汚れは、スポンジにクリームクレンザーをつけて落としてください。このときステンレスカウンターは目の方向に沿って磨いてください。強くこするとキズがつきますのでご注意ください。



キャビネット(木部)

- かわいた布または、かたくしぼった布で拭いてください。
- 油脂分等の汚れは布に中性洗剤を浸して拭きとり、かたくしぼった布で洗剤分を拭きとってください。
- 食品を保管するときは乾物だけとし、市販の脱臭剤をご利用ください。
- 扉は市販のワックスで磨くと光沢を保てます。ワックスをご購入のさいは扉の材質をよくご確認の上お選びください。



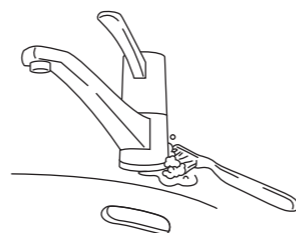
排水口(排水器具・ホース)

- 排水器具の部分は取りはずせませんので、すべて取り出して中性洗剤で洗ってください。
- 定期的に「パイプ洗浄剤」を使用して排水パイプを洗浄してください。



その他設備機器

- 水栓等の手の届かないところの汚れは使い古しのハブラシに中性洗剤をつけて落としてください。
- 各設備機器に付属の取扱説明書のお手入れの項をよくご覧ください。



保証書

- 保証書は必ず「お買い上げ日」・「当社名」の記入をお確かめの上、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日から2年間です。

修理を依頼される時

- 当社にご連絡ください。
- ◇保証期間中は、保証書の規定にしたがって弊社・サービス部門が出張修理させていただきます。なお、以下の内容をご依頼時にお知らせください。
 - ①お名前・ご住所・電話番号・製品名・お買い上げ日・保証書の有無
 - ②故障・異常の内容(できるだけ詳しく)
 - ③訪問ご希望日
- ◇保証期間が過ぎているときはご希望により有料にて修理させていただきます。

修理用性能部品の最低供給期間

- 製造打ち切り後10年です。(性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。)同等能力の代替品により対応させていただく場合もございます。

ご不明な点は

- 当社にご連絡ください。

